

みなみ た ね ちよう  
南種子町のインギー鶏

【所 在 地】熊毛郡南種子町

【種 別】県指定天然記念物

【指定年月日】平成25年4月23日



インギー鶏

明治27年(1894), イギリスの帆船ドラメルタン号が種子島の南端「下中前之浜」に漂着。帰国する際, 船内に飼っていた鶏をもらい受け, 百十数年経った現在も種が保存されている。名前の由来は, 当時, 島民がイギリス人を「インギー」と呼んでいたことに由来する。

インギー鶏の最大の特徴は, 尾骨はあるが, 尾羽の発育不全の縮れで, 一見, 尾がないように見えることであり, こうした特徴をもつ鶏は世界でもあまり例がなく, 珍しい鶏である。

また, 九斤(コーチン)種の系統に属する中国南部の品種であると考えられるが, 南種子町に土着化する過程で, 100年以上にわたる改良・淘汰によって, 原種と異なる固有の鶏種として確立されているものと思える本種は, 遺伝学の分野から見ても学術的に貴重である。